

もっと安心農産物 レタス (露地冬どり) 栽培暦 (令和6年度) JAきみつ

- 土づくり ☆完熟堆肥投入を実施する
- 施肥 ☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守 (①・②の肥料を1つ選択する)
☆化学合成肥料10aあたり12kgまで

	肥料名	施肥量
基肥	① スーパーマイルド086号(10-8-6) (有機態窒素 6.1)	300kg以下
	② ゆうき日和084(10-8-4) (有機由来窒素5)	240kg以下
	③ 味好2号(7-2-7) (有機由来窒素7)	100kg以下
基肥	苦土石灰 (土壌診断にもとづいて施用する)	100kg以下

3. 防除 化学合成農薬：9成分回数までエスマルクDF、スラゴは回数に含まれません

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病虫害	備考 (耕種の防除の実施等)	
9月中旬	は種	オオタバコガ・ハスモンヨトウ 灰色カビ病・菌核病	パレード20フロアブル(1)	100倍 (育苗期後半～定植当日)	菌核病・すそ枯れ病		
10月上旬	定植		選択	プレバソフロアブル5(1)	100倍 (育苗期後半～定植当日)	オオタバコガ・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ	ジュリボフロアブルについては2成分カウントになるので注意
			ジュリボフロアブル(2)	200倍 (育苗期後半～定植当日)	オオタバコガ・ハモグリバエ ハスモンヨトウ・ヨトウムシ カブラガ・アブラムシ		
			カセット水和剤(2)	1000倍 (収穫7日前)	腐敗病 斑点細菌病 軟腐病	すそ枯れ病の発生の多い場合はバリアンシ液剤5(1)を800倍にて使用	
			ディアナSC(1)	2500~5000倍 (収穫前日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエの発生が多い場合はプレバソフロアブル5(1)を2000倍にて使用	
10月中旬	選択		アファーム乳剤(1)	1000~2000倍 (収穫3日前)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	オオタバコガ・ハスモンヨトウの発生が多い場合はエスマルクDF(0)を1000倍にて使用	
10月下旬			プレオフロアブル(1)	1000倍 (収穫7日前)	ハモグリバエ		
11月上旬			ウララDF(1)	2000倍 (収穫前日)	アブラムシ類		
			コルト顆粒水和剤(1)	4000倍 (収穫前日)	アブラムシ類		アブラムシの発生の多い場合はウララDF(1)を2000倍にて使用
11月中旬	選択		ヨネポン水和剤(1)	500倍 (収穫14日前)	べと病・軟腐病 腐敗病・斑点細菌病	べと病の発生の多い場合はアミスター20フロアブル(1)を2000倍にて使用 ナメクジの発生前にスラゴ(0)を株基に使用	
			レーバソフロアブル(1)	2000倍 (収穫7日前)	べと病		
			フォリオゴールド(2)	800倍 (収穫14日前)			
			オロンディスウルトラSC(2)	2000倍 (収穫7日前)			
			ランネット45DF(1)	1000倍 (収穫21日前)			オオタバコガ・ヨトウムシ・アブラムシ類・ナメクジ類
11月下旬	選択		フェニックス顆粒水和剤(1)	2000倍 (収穫前日)	オオタバコガ・ハスモンヨトウ	化学合成農薬9成分の範囲で、本表に記載の薬剤から選択することとする。	
			スミブレンド水和剤(2)	1000~2000倍 (収穫7日前)	灰色かび病・菌核病		
			ファンタジスタ顆粒水和剤(1)	2000~3000倍 (収穫3日前)			
12月	収穫		※ () 内は化学合成農薬成分数				
1月							

☆みんなで守ろう生産基準